

英国調査の報告

教育・学生支援機構 大学教育機能開発センター
加藤かおり

目的：英国における教育力向上の取り組みに関して、大学教員の教育職能の開発に焦点をあて、機関における取り組み、教育開発の専門職団体による取り組みの現状についての資料情報を収集する。

期間：平成22年2月5日～2月14日

訪問先：レスター大学、ノッティンガム大学、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ (UCL)、スタッフ教育開発協会、ロンドン大学教育研究所図書館、大英図書館

調査担当者：高橋俊幸、小川貴弘、清水晃、加藤かおり

調査の概要

- (1) 大学（機関）における教育力向上、教育職能開発の取り組みについて
機関における取り組みについては、レスター大学のスタッフ開発センターにおける新任教員研修のコ

アワークショップ・プログラムへの参加と担当の専門スタッフへのプログラム設計に関する面接ヒアリング調査、ノッティンガム大学における研修セミナーへの参加、UCLの教育開発センターおよび人材開発部専門職能開発部門における専門スタッフへの教育職能開発の取り組みの構造に関する面接ヒアリング調査を実施した。

- (2) 教育開発の専門職能団体における取り組みについて

全英レベルの教育専門職能団体であるスタッフ教育開発協会 (Staff and Educational Development Association, SEDA) の教育開発者 (educational developer) 養成のためのワークショップ・プログラムへの参加、およびそのファシリテーターへの英国における教育開発および教育職能開発の動向等に関する面接ヒアリング調査を実施した。

英国におけるこれまでの教育開発の歴史および文脈に関する資料収集をロンドン大学教育研究所図書館等で実施した。